

平成 27 年度 三条市算数部 活動報告

部長 大原貞雄

1 研究主題

「少人数グループでの学び合いを通して、考えを伝え深めていく授業の工夫」

2 研究の概要

昨年度の成果と反省を基に、5月の第1回部会で、実際に授業を参観し協議するところがお互いの指導に生かすことができる研修になると確認し合った。公開授業を計画し、「グループ活動での学び合い」を取り入れた授業を4学年で実施した。また、協議会の持ち方についてもワールドカフェ形式を取り入れ、研修を深めた。

3 研究の実際

月 日	活動の概要（活動名，概要，指導者等）	会場・参加者数
6月25日 (木)	○授業研修会 ・单元名 4年生「いろいろな四角形」 ・授業者 大崎小学校 桐生 太 教諭 ・本時のねらい 今まで学習してきたいろいろな四角形の性質をグループで表にまとめることにより、その包摂関係に気付き、四角形についての理解を一層深める。 ・協議題 4年生の発展として四角形の包摂関係を指導する必要があるのか。必要ならば、どのような手立てが有効か。 グループ活動は、考えを深めるのに有効であったか。 ・指導者 三条市小中一貫教育推進課 教育センター指導主事 小杉 洋一 様	会場 大崎小学校 参加者 38名  グループの考えを拡大提示し学級全体で確認

4 成果と課題

授業では、中学校の学習内容にもつながる四角形の包摂関係について提案授業していただいた。児童が具体物を操作しながら考えたり、グループで意見をまとめて表に記入したりして、楽しみながら活動していた。

協議会では、KJ法にワールドカフェ方式を取り入れた方法で実施した。部員同士の話し合いが深まり、よりよい指導法について検討することができた。指導者からは、「4年生の児童の実態として既習事項をもとにして考える子と、生活経験をもとにして考える子が混在しているからこそ具体物操作が大切である」とご指導いただいた。そして、「児童同士の話し合いの中やまとめの中で獲得した知識を関連付けさせることが必要である」こともご指導いただいた。

2年続けて授業研修を通して研究を進めてきた。次年度以降の研究の進め方について見通しをもって取り組んでいく必要がある。